

※掲載は順不同となっております。

No	事業名	概要	所管課
1	海津小学校 開校!! 新たな歴史のスタート	4月、海津町地内の5校が統合し、「海津小学校」が開校した。 開校式には、児童をはじめ教職員、関係者が出席。式典の第2部では、校歌を制作したシンガーソングライターの足立佳奈さんが祝福に駆け付け、児童たちは期待を胸に新たな学び舎での一步を踏み出した。	教育総務課 (TEL53-1467)
2	こども未来館ZüTTōオープン	1 1 月、「安心して過ごせる親子の居場所」をコンセプトに整備を進めてきた「海津市こども未来館ZüTTō」がオープンした。 最大の特徴として、2階の「キッズ広場」に全国70か所以上の遊び場づくりを手がける「ボーネルンド社」がプロデュースした遊育施設を設けている。この場所では、子どもの成長に必要な「遊び」と「学び」を提供するとともに、子育て中の保護者が気軽に交流や相談できる場となる。 1階の「ふれあい広場」では、絵本や児童書など2万冊の蔵書を有する「こども図書館」、ゆったりと会話を楽しめるカフェスペースなどを設け、様々な世代が集う憩いの場として利用できる。 愛称「ZüTTō（ずっと）」に込められた、「子どもたちが遊びや学びにずっと夢中になれる場所」、「大人になっても訪れたくなるような、世代を超えてずっと愛され続ける施設」を目指していく。	こども未来課 (TEL53-1526)
3	駒野工業団地 株式会社湖池屋が進出決定 中部工場の建設に着手	3月、駒野工業団地への進出企業として、東京都板橋区／渋谷区に本社を置くスナック菓子メーカーの「株式会社湖池屋」が決定し、9月には新工場建設の地鎮祭が行われた。 新工場となる「中部工場」は、中部圏では初めての製造拠点となり、延床面積約9,000㎡の工場棟では、主力となるポテトチップスや新しい高付加価値商品が製造されるほか、岐阜の特産品などにちなんだ味付けの商品製造も計画され、現在は令和7年秋の操業開始に向けて建設が進められている。 また、オリジナルフレーバーのポテトチップス作りを体験できる「湖池屋GOGO!ファクトリー」の開設も予定されている。 新工場の稼働後は、市内の雇用創出や地域経済の活性化に大きな期待を寄せる。	商工振興・企業誘致課 (TEL53-1374)
4	観光プロモーション推進事業 「かいづシティアンバサダー」を任命	1 2 月、本市の魅力を市内外に広く発信することで、市の認知度の向上及び観光誘客の促進及び観光業の振興、関係人口の増加を図るとともに、市民の市への誇りと愛着をより一層高めるため、「かいづシティアンバサダー」に本市出身のシンガーソングライターで、C M、ドラマ、モデルとしても活躍する「足立佳奈」さんを任命した。 足立さんには、今年4月に開校した海津小学校の校歌を作成いただいており、海津市にとって非常に深い関わりを持っていただいていること、また、自身のS N Sは1 3 0万人を超えるフォロワーがいることから、本市の情報を広く発信いただき、市の認知度向上と観光誘客に期待を寄せる。	観光・シティブロモーション課 (TEL53-1115)
5	羽根谷だんだん公園キャンプ場 オートサイトの追加オープン	4月、羽根谷だんだん公園キャンプ場では、新たにオートキャンプサイト9区画をオープンした。 オートキャンプサイトは、各サイトに電源設備や駐車スペース、Wi-Fi環境を備え、ベテランキャンパーだけでなく、キャンプ初心者や家族連れの方々にも大変好評いただいている。 また、同キャンプ場では、10月の「eスポーツイベント」には60組200名に参加いただき、キャンプとeスポーツという異質なものの相乗効果に新たな可能性を見出すことができた。 さらに、11月にはアイドルグループが出演する「かほなんフェス」を開催し、アイドルファン200名の集客につなげられ、新たな層に同キャンプ場の魅力を伝えることができた。	建設都市計画課 (TEL53-1425) 観光・シティブロモーション課 (TEL53-1115)
6	羽島市、大阪府羽曳野市と災害時相互応援協定を締結	10月、羽島市、大阪府羽曳野市との3市の間で、「災害時相互応援協定」を締結した。 この協定により、各市で災害が発生または発生する恐れが生じた場合に、要請に応じて生活必需物資や応急復旧等に必要な資機材等を提供するほか、応急復旧に必要な職員を派遣することとした。また、被災者を一時的に受け入れるための施設の提供、斡旋を行う。	総務課防災危機管理室 (TEL53-1111)
7	「清流の国ぎふ」文化祭2024 「海津市文化フェスティバル」の開催	岐阜県で開催された「清流の国ぎふ」文化祭2024（第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭）における地域文化発信事業の一環として「海津市文化フェスティバル」を開催した。 この文化フェスティバルは、「文化祭」、「音楽祭」、「企画展」の3つの事業で構成し、期間中は市内外から約4,000名に会場いただいた。 文化芸術の素晴らしさを再認識するとともに、本市の魅力を発信することができ、今後の文化芸術活動の発展につなげる契機となった。	文化・スポーツ課 (TEL53-1536)
8	道の駅「月見の里南濃」開駅20周年イベントを開催	1 1 月、開駅20周年の節目を迎え、日頃ご利用いただいているお客様への感謝と、さらなる集客促進による賑わいの創出を目的として、「月見の里南濃 開駅20周年記念イベント」を2日間にわたり開催し、約1万人の来場者に朝市や縁日、餅つき大会などを楽しんでいただいた。 また、本市特産品の南濃みかんとハツシモをコラボしたポン菓子を来場者にプレゼントした。	観光・シティブロモーション課 (TEL53-1115)
9	海津市こども未来フェローに陳内裕樹氏、小出泰久氏を委嘱	9月、D Xを推進し、市が抱える諸課題の解決および市政の変革を目的として、幅広い知識および豊富な経験を有する専門家から自治体DX等に関する助言・提言の支援等を得るため、「海津市こども未来フェロー」として、東京都立大学客員教授/東北芸術工科大学客員教授の陳内裕樹氏、大阪教育大学/愛知教育大学客員教授の小出泰久氏の2名を委嘱した。 陳内氏には総合政策分野において、小出氏には教育政策分野において、それぞれ助言・提言の支援等を得る。	企画課 (TEL53-1113)
10	農業経営改善事業（トヨタ式カイゼンの導入）を活用した実践の開始	12月、トヨタ自動車株式会社と「農業を通じた地域社会の形成・振興に関する協定」に基づき、生産現場での作業の効率化や経営の改善による持続可能な農業経営を目指す「農業経営改善事業（トヨタ生産方式）」を実践する農業者が決定した。 農業者の高齢化による担い手の確保が急務となる中、効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者を育成し、農産物生産現場のカイゼンを図る。	農林振興課 (TEL53-1351)